

ヨハネに出てくる「父」という言葉

はじめに述べたように、ヨハネによる福音書では、イエスと**父なる神**との関係が主なテーマとなっています。

ヨハネによる福音書全体を通して、メッセージと焦点は一貫しており、明確です。イエスは**父なる神と一体であり、父なる神によって遣わされました**。イエスは**父**なる神と最も親密な関係にあり、私たちに神を知らしめました。

ヨハネによる福音書5章17-20節で、イエスはご自身では何もできないことをはっきりと述べています。イエスはすべてを、**父**なる神との愛の関係を通して行いました。イエスはヨハネによる福音書の中で、このテーマを何度も繰り返しています。そして、「**父**」という言葉が100回以上使われています。また、イエスは「**父**」という言葉を使わずに、**父**なる神について言及しています。例えば、イエスは「私をお遣わしになった方」という表現を、**父**なる神について語る際に何度も用いています。

ヨハネによる福音書を学ぶ際には、各章の「**父**」という語句に下線を引いたり、丸で囲んだりすることをお勧めします。ヨハネによる福音書の序文で述べたように、イエスと**父**なる神との関係は、ヨハネによる福音書の中心的なテーマです。これは、イエスが**父**について語った回数を数えてみても明らかです。

イエスは私たちの模範です。私たちがどう生きるべきかの模範を示すために、イエスは人間となり、この世で生活されました。イエスは、私たちが完全に**父**に頼り、**父**との愛の関係を通してすべてを行うことを望んでおられます。

ヨハネ 1:14

ことばは人となって、私たちの間に住まわれた。私たちはこの方の栄光を見た。**父**のみもとから来られたひとり子としての栄光である。この方は恵みとまことに満ちておられた。

ヨハネ 1:18

いまだかつて神を見た者はいない。**父**のふところにおられるひとり子の神が、神を説き明かされたのである。

ヨハネ 2:16

また、鳩を売る者に言われた。「それをここから持って行け。わたしの**父**の家を商売の家としてはならない。」

ヨハネ 3:35

父は御子を愛しておられ、万物を御子の手にお渡しになった。

ヨハネ 4:21

イエスは彼女に言われた。「わたしの言うことを信じなさい。あなたがたが**父**を礼拝するのは、この山でもなく、エルサレムでもない、そういう時が来ます。

ヨハネ 4:23

しかし、真の礼拝者たちが霊とまことによって**父**を礼拝する時が来ます。今がその時です。**父**はこのような人々を礼拝者として求めておられるからです。

ヨハネ 5:17

「わたしの**父**は今に至るまで働いておられます。ですからわたしも働いているのです。」

ヨハネ 5:18

このためユダヤ人たちは、ますますイエスを殺そうとするようになった。イエスが安息日を破っておられただけでなく、ご自身を神と等しくして、神を自分の**父**と呼んでおられたからである。

ヨハネ 5:19

「まことに、まことに、あなたがたに告げます。子は、**父**がしておられることを見て行う以外には、自分からは何事も行ふことができません。**父**がなさることは何でも、子も同様に行うのです。

ヨハネ:20

それは、父が子を愛して、ご自分のなさることをみな、子にお示しになるからです。また、これよりもさらに大きなわざを子に示されます。それは、あなたがたが驚き怪しむためです。

ヨハネ 5:21

父が死人を生かし、いのちをお与えになるように、子もまた、与えたいと思う者にいのちを与えます。

ヨハネ 5:22

また、父はだれをもさばかず、すべてのさばきを子にゆだねられました。

ヨハネ 5:23

それは、すべての者が、父を敬うように子を敬うためです。子を敬わない者は、子を遣わした父をも敬いません。

ヨハネ 5:26

それは、父がご自分のうちにいのちを持っておられるように、子にも、自分のうちにいのちを持つようにして下さったからです。

ヨハネ 5:36

しかし、わたしにはヨハネの証言よりもすぐれた証言があります。父がわたしに成し遂げさせようとしてお与えになったわざ、すなわちわたしが行っているわざそのものが、わたしについて、父がわたしを遣わしたことを証言しているのです。

ヨハネ 5:37

また、わたしを遣わした父ご自身がわたしについて証言しておられます。あなたがたは、まだ一度もその御声を聞いたこともなく、御姿を見たこともありません。

ヨハネ 5:43

わたしはわたしの父の名によって来ましたが、あなたがたはわたしを受け入れません。ほかの人がその人自身の名において来れば、あなたがたはその人を受け入れるのです。

ヨハネ 5:45

わたしが、父の前にあなたがたを訴えようとしていっているとは思ってはなりません。あなたがたを訴える者は、あなたがたが望みをおいているモーセです。

ヨハネ 6:27

なくなる食物のためではなく、いつまでも保ち、永遠のいのちに至る食物のために働きなさい。それこそ、人の子があなたがたに与えるものです。この人の子を父すなわち神が認証されたからです。

ヨハネ 6:32

イエスは彼らに言われた。「まことに、まことに、あなたがたに告げます。モーセはあなたがたに天からのパンを与えたではありません。しかし、わたしの父は、あなたがたに天からまことのパンをお与えになります。」

ヨハネ 6:37

父がわたしにお与えになる者はみな、わたしのところに来ます。そしてわたしのところに来る者を、わたしは決して捨てません。

ヨハネ 6:40

事実、わたしの父のみこころは、子を見て信じる者がみな永遠のいのちを持つことです。わたしはその人たちをひとりひとり終わりの日によみがえらせます。

ヨハネ 6:44

わたしを遣わした父が引き寄せられないかぎり、だれもわたしのところに来ることはできません。わたしは終わりの日にその人をよみがえらせます。

ヨハネ 6:45

預言者の書に、『そして、彼らはみな神によって教えられる』と書かれています。父から聞いて学んだ者はみな、わたしのところに来ます。

ヨハネ 6:46

だれも父を見た者はありません。ただ神から出た者、すなわち、この者だけが、父を見たのです。

ヨハネ 6:57

生ける父がわたしを遣わし、わたしが父によって生きているように、わたしを食べる者も、わたしによって生きるのです。

ヨハネ 6:65

そしてイエスは言われた。「それだから、わたしはあなたがたに、『父のみこころによるのでないかぎり、だれもわたしのところに来ることはできない』と言ったのです。

ヨハネ 8:16

しかし、もしわたしがさばくなら、そのさばきは正しいのです。なぜなら、わたしひとりではなく、わたしと**わたしを遣わした方**とがさばくのだからです。

ヨハネ 8:18

わたしが自分の証人であり、また、わたしを遣わした**父**が、わたしについてあかしされます。

ヨハネ 8:19

「あなたの**父**はどこにいるのですか。」イエスは答えられた。「あなたがたは、わたしをも、わたしの**父**も知りません。もし、あなたがたがわたしを知っていたなら、わたしの父をも知っていたでしょう。」

ヨハネ 8:27

彼らは、イエスが**父**のことを語っておられたことを悟らなかった。

ヨハネ 8:28

あなたがたが人の子を上げてしまうと、その時、あなたがたは、わたしが何であるか、また、わたしがわたし自身からは何事もせず、ただ**父**がわたしに教えられたとおりに、これらのことを話していることを、知るようになります。

ヨハネ 8:38

わたしは**父**のもとで見たことを話しています。ところが、あなたがたは、あなたがたの**父**から示されたことを行うのです。

ヨハネ 8:39

「私たちの**父**はアブラハムです。」イエスは彼らに言われた。「あなたがたがアブラハムの子どもなら、アブラハムのわざを行いなさい。

ヨハネ 8:41

あなたがたは、あなたがたの**父**のわざを行っています。」彼らは言った。「私たちは不品行によって生まれた者ではありません。私たちにはひとりの**父**、神があります。」

ヨハネ 8:42

神がもしあなたがたの**父**であるなら、あなたがたはわたしを愛するはずですが。なぜなら、わたしは神から出て来てここにいるからです。わたしは自分で来たのではなく、神がわたしを遣わしたのです。

ヨハネ 8:44

「神がもしあなたがたの**父**であるなら、あなたがたはわたしを愛するはずですが。なぜなら、わたしは神から出て来てここにいるからです。わたしは自分で来たのではなく、神がわたしを遣わしたのです。」

ヨハネ 8:49

わたしは悪霊につかわれてはいません。わたしは**父**を敬っています。しかしあなたがたは、わたしを卑しめています。

ヨハネ 8:53

あなたは、私たちの**父**アブラハムよりも偉大なのですか。そのアブラハムは死んだのです。預言者たちもまた死にました。あなたは、自分自身をだれだと言うのですか。

ヨハネ 8:54

わたしがもし自分自身に栄光を帰するなら、わたしの栄光はむなしいものです。わたしに栄光を与える方は、わたしの**父**です。この方のことを、あなたがたは『私たちの神である』と言っています。

ヨハネ 8:56

あなたがたの**父**アブラハムは、わたしの日を見ることを思って大いに喜びました。彼はそれを見て、喜んだのです。

ヨハネ 10:15

それは、**父**がわたしを知っておられ、わたしが**父**を知っているのと同様です。また、わたしは羊のためにわたしのいのちを捨てます。

ヨハネ 10:17

わたしが自分のいのちを再び得るために自分のいのちを捨てるからこそ、**父**はわたしを愛してくださいます。

ヨハネ 10:18

だれも、わたしからいのちを取った者はいません。わたしが自分からいのちを捨てるのです。わたしには、それを捨てる権威があり、それをもう一度得る権威があります。わたしはこの命令をわたしの**父**から受けたのです。

ヨハネ 10:25

「わたしは話しました。しかし、あなたがたは信じないのです。わたしが**父**の御名によって行うわざが、わたしについて証言しています。」

ヨハネ 10:29

わたしに彼らをお与えになった父は、すべてにまさって偉大です。だれもわたしの父の御手から彼らを奪い去ることはできません。

ヨハネ 10:30

わたしと父とは一つです

ヨハネ 10:32

わたしは、父から出た多くの良いわざを、あなたがたに示しました。そのうちのどのわざのために、わたしを石打ちにしようとするのですか。

ヨハネ 10:36

『わたしは神の子である』とわたしが言ったからといって、どうしてあなたがたは、父が、聖であることを示して世に遣わした者について、『神を冒瀆している』と言うのですか。

ヨハネ 10:37

もしわたしが、わたしの父のみわざを行っていないのなら、わたしを信じないでいなさい。

ヨハネ 11:38

しかし、もし行っているなら、たといわたしの言うことが信じられなくても、わざを信用しなさい。それは、父がわたしにおられ、わたしが父に在ることを、あなたがたが悟り、また知るためです。

ヨハネ 10:41

そこで、彼らは石を取りのけた。イエスは目を上げて、言われた。「父よ。わたしの願いを聞いてくださったことを感謝いたします。」

ヨハネ 12:26

わたしに仕えるというのなら、その人はわたしについて来なさい。わたしがいる所に、わたしに仕える者もいるべきです。もしわたしに仕えるなら、父はその人に報いてくださいます。

ヨハネ 12:27

今わたしの心は騒いでいる。何と言おうか。『父よ。この時からわたしをお救いください』と言おうか。いや。このためにこそ、わたしはこの時に至ったのです。

ヨハネ 12:28

父よ。御名の栄光を現してください。」そのとき、天から声が聞こえた。「わたしは栄光をすでに現したし、またもう一度栄光を現そう。」

ヨハネ 12:49

わたしは、自分から話したのではありません。わたしを遣わした父ご自身が、わたしが何を言い、何を話すべきかをお命じになりました。

ヨハネ 12:50

わたしは、父の命令が永遠のいのちであることを知っています。それゆえ、わたしが話していることは、父がわたしに言われたとおりを、そのままに話しているのです。

ヨハネ 13:1

さて、過越の祭りの前に、この世を去って父のみもとに行くべき自分の時が来たことを知られたので、世にいる自分のものを愛されたイエスは、その愛を残るところなく示された。

ヨハネ 13:3

イエスは、父が万物を自分の手に渡されたことと、ご自分が神から出て神に行くことを知られ、

ヨハネ 14:2

わたしの父の家には、住まいがたくさんあります。もしなかったら、あなたがたに言うとおいででしょう。あなたがたのために、わたしは場所を備えに行くのです。

ヨハネ 14:5-6

「わたしが道であり、真理であり、いのちなのです。わたしを通してでなければ、だれひとり父のみもとに来ることはありません。」

ヨハネ 14:7

あなたがたは、もしわたしを知っていたなら、父をも知っていたはずですが。しかし、今や、あなたがたは父を知っており、また、すでに父を見たのです。」

ヨハネ 14:8

ピリポはイエスに言った。「主よ。私たちに父を見せてください。そうすれば満足します。」

ヨハネ 14:9

ピリポ。こんなに長い間あなたがたといっしょにいるのに、あなたはわたしを知らなかったのですか。わたしを見た者は、父を見たのです。どうしてあなたは、『私たちに父を見せてください』と言うのですか。

ヨハネ 14:10

わたしが父におり、父がわたしにおられることを、あなたは信じないのですか。わたしがあなたがたに言うことばは、わたしが自分から話しているではありません。わたしのうちにおられる父が、ご自分のわざをしておられるのです。

ヨハネ 14:11

わたしが父におり、父がわたしにおられるとわたしが言うのを信じなさい。さもなければ、わざによって信じなさい。

J ヨハネ 14:12

まことに、まことに、あなたがたに告げます。わたしを信じる者は、わたしの行うわざを行い、またそれよりもさらに大きなわざを行います。わたしが父のもとに行くからです。

ヨハネ 14:13

またわたしは、あなたがたがわたしの名によって求めることは何でも、それをしましょう。父が子によって栄光をお受けになるためです。

ヨハネ 14:16

わたしは父にお願いします。そうすれば、父はもうひとりの助け主をあなたがたにお与えになります。その助け主がいつまでもあなたがたと、ともにおられるためにです。

ヨハネ 14:20

その日には、わたしが父におり、あなたがたがわたしにおり、わたしがあなたがたにおることが、あなたがたにわかります。

ヨハネ 14:21

わたしの戒めを保ち、それを守る人は、わたしを愛する人です。わたしを愛する人はわたしの父に愛され、わたしもその人を愛し、わたし自身を彼に現します。」

ヨハネ 14:23

だれでもわたしを愛する人は、わたしのことばを守ります。そうすれば、わたしの父はその人を愛し、わたしたちはその人のところに来て、その人とともに住みます。

ヨハネ 14:24

だれでもわたしを愛する人は、わたしのことばを守ります。そうすれば、わたしの父はその人を愛し、わたしたちはその人のところに来て、その人とともに住みます。

ヨハネ 14:26

しかし、助け主、すなわち、父がわたしの名によってお遣わしになる聖霊は、あなたがたにすべてのことを教え、また、わたしがあなたがたに話したすべてのことを思い起こさせてくださいます。

ヨハネ 14:28

『わたしは去って行き、また、あなたがたのところに来る』とわたしが言ったのを、あなたがたは聞きました。あなたがたは、もしわたしを愛しているなら、わたしが父のもとに行くことを喜ぶはずで、父はわたしよりも偉大な方だからです。

ヨハネ 14:31

しかしそのことは、わたしが父を愛しており、父の命じられたとおりに行っていることを世が知るためです。立ちなさい。さあ、ここから行くのです。

ヨハネ 15:1

わたしはまことのおぶどうの木であり、わたしの父は農夫です。

ヨハネ 15:8

あなたがたが多くの実を結び、わたしの弟子となることによって、わたしの父は栄光をお受けになるのです。

ヨハネ 15:9

父がわたしを愛されたように、わたしもあなたがたを愛しました。わたしの愛の中にとどまりなさい。

ヨハネ 15:10

もし、あなたがたがわたしの戒めを守るなら、あなたがたはわたしの愛にとどまるのです。それは、わたしがわたしの父の戒めを守って、わたしの父の愛の中にとどまっているのと同じです。

ヨハネ 15:15

わたしはもはや、あなたがたをしもべとは呼びません。しもべは主人のすることを知らないからです。わたしはあなたがたを友と呼びました。なぜなら父から聞いたことをみな、あなたがたに知らせたからです。

ヨハネ 15:16

あなたがたがわたしを選んだのではありません。わたしがあなたがたを選び、あなたがたを任命したのです。それは、あなたがたが行って実を結び、そのあなたがたの実が残るためであり、また、あなたがたがわたしの名によって父に求めるものは何でも、父があなたがたにお与えになるためです。

ヨハネ 15:23

わたしを憎んでいる者は、わたしの父をも憎んでいるのです。

ヨハネ 15:24

もしわたしが、ほかのだれも行っただけのわざを、彼らの間で行わなかったのなら、彼らには罪がなかったでしょう。しかし今、彼らはわたしをも、わたしの父をも見て、そのうえで憎んだのです。

ヨハネ 15:26

わたしが父のもとから遣わす助け主、すなわち父から出る真理の御霊が来るとき、その御霊がわたしについてあかしします。

ヨハネ 16:3

彼らがこういうことを行うのは、父をもわたしをも知らないからです。

ヨハネ 16:10

また、義についてとは、わたしが父のもとに行き、あなたがたがもはやわたしを見なくなるからです。

ヨハネ 16:15

父が持っておられるものはみな、わたしのものです。ですからわたしは、御霊がわたしのものを受けて、あなたがたに知らせると言ったのです。

ヨハネ 16:17

そこで、弟子たちのうちのある者は互いに言った。「『しばらくするとあなたがたは、わたしを見なくなる。しかし、またしばらくするとわたしを見る』、また『わたしは父のもとに行くから』と主が言われるのは、どういうことなのだろう。」

ヨハネ 16:23

その日には、あなたがたはもはや、わたしに何も尋ねません。まことに、まことに、あなたがたに告げます。あなたがたが父に求めることは何でも、父は、わたしの名によってそれをあなたがたにお与えになります。

ヨハネ 16:25

これらのことを、わたしはあなたがたにたとえて話しました。もはやたとえでは話さないで、父についてははっきりと告げる時が来ます。

ヨハネ 16:26

その日には、あなたがたはわたしの名によって求めるのです。わたしはあなたがたに代わって父に願ってあげようとは言いません。

ヨハネ 16:27

それはあなたがたがわたしを愛し、また、わたしを神から出て来た者と信じたので、父ご自身があなたがたを愛しておられるからです。

ヨハネ 16:28

「わたしは父から出て、世に来ました。もう一度、わたしは世を去って父のみもとに行きます。」

ヨハネ 16:32

見なさい。あなたがたが散らされて、それぞれ自分の家に帰り、わたしをひとり残す時が来ます。いや、すでに来ています。しかし、わたしはひとりではありません。父がわたしといっしょにおられるからです。

ヨハネ 17:1

イエスはこれらのことを話してから、目を天に向けて、言われた。「父よ。時が来ました。あなた

ヨハネ 17:5

今は、父よ、みそばで、わたしを栄光で輝かせてください。世界が存在する前に、ごいっしょにいて持っていましたあの栄光で輝かせてください。

ヨハネ 17:11

わたしはもう世にいません。彼らは世におりますが、わたしはあなたのみもとにまいます。聖なる父。あなたがわたしに下さっているあなたの御名の中に、彼らを保ってください。それはわたしたちと同様に、彼らが一つとなるためです。

ヨハネ 17:21

それは、父よ、あなたがわたしにおられ、わたしがあなたにるように、彼らがみな一つとなるためです。また、彼らもわたしたちにおるようになるためです。そのことによって、あなたがわたしを遣わされたことを、世が信じるためなのです。

ヨハネ 17:24

父よ。お願いします。あなたがわたしに下さったものをわたしのいる所にわたしといっしょにおらせてください。あなたがわたしを世の始まる前から愛しておられたためにわたしに下さったわたしの栄光を、彼らが見るようになるためです。

ヨハネ 17:25

正しい父よ。この世はあなたを知りません。しかし、わたしはあなたを知っています。また、この人々は、あなたがわたしを遣わされたことを知りました。

ヨハネ 18:11

そこで、イエスはペテロに言われた。「剣をさやに収めなさい。父がわたしに下さった杯を、どうして飲まずにいられよう。」

ヨハネ 20:17

イエスは彼女に言われた。「わたしにすがりついてはいけません。わたしはまだ父のもとに上っていないからです。わたしの兄弟たちのところに行って、彼らに『わたしは、わたしの父またあなたがたの父、わたしの神またあなたがたの神のもとに上る』と告げなさい。」

ヨハネ 20:21

イエスはもう一度、彼らに言われた。「平安があなたがたにあるように。父がわたしを遣わしたように、わたしもあなたがたを遣わします。」